



東証JASDAQ上場

- 1 . 平成30年3月期 連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

- 1 . 平成30年3月期 連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期 トピックス（参考）

業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル＝110.824円で計算しております。

連結決算ハイライト

(単位：千円)	平成29年3月期	平成30年3月期					
	実績	予想	実績	前年同期増減比較		予想同期増減比較	
				金額	増減率	金額	増減率
売上高	8,094,209	8,515,000	8,989,310	895,100	11.1%	474,310	5.6%
売上原価	6,350,555	6,681,000	6,996,948	646,393	10.2%	315,948	4.7%
売上総利益	1,743,654	1,834,000	1,992,361	248,707	14.3%	158,361	8.6%
販売管理費	1,665,018	1,708,000	1,942,518	277,500	16.7%	234,518	13.7%
営業利益	78,636	126,000	49,843	△28,792	△36.6%	△76,156	△60.4%
経常利益	63,649	103,000	35,207	△28,441	△44.7%	△67,792	△65.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55,500	1,000	37,629	17,871	-	36,629	-
EPS	67.78円	-	45.96円	21.82円	-	-	-
総資産	7,162,176	-	7,626,725	464,549	6.5%	-	-
純資産	4,043,181	-	3,899,021	144,159	3.7%	-	-

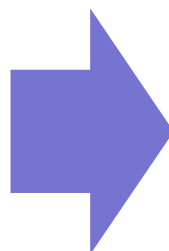
EPSについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

予想達成率

売上高 105.6%

営業利益 39.6%

経常利益 34.2%

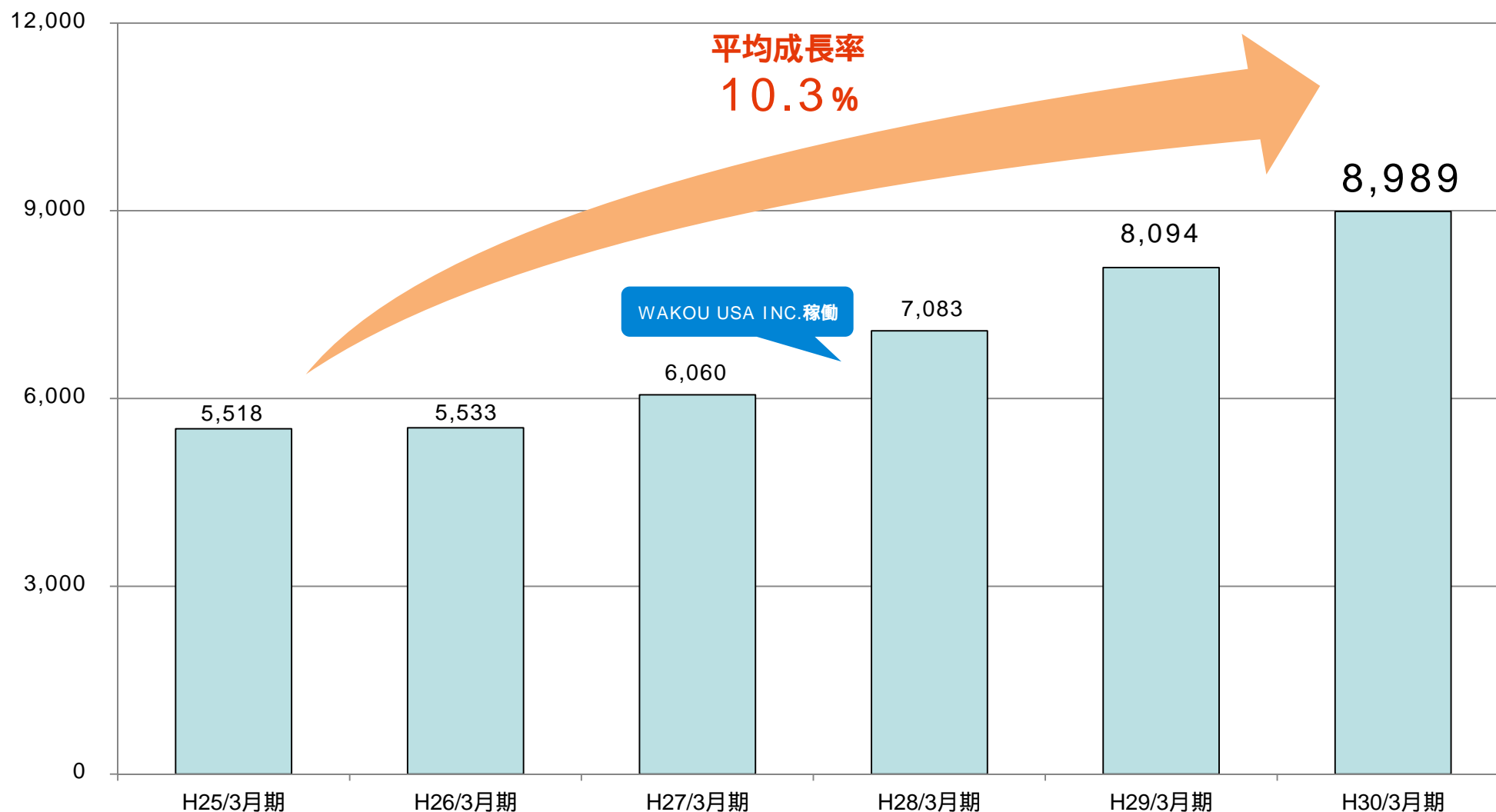


【減益要因】

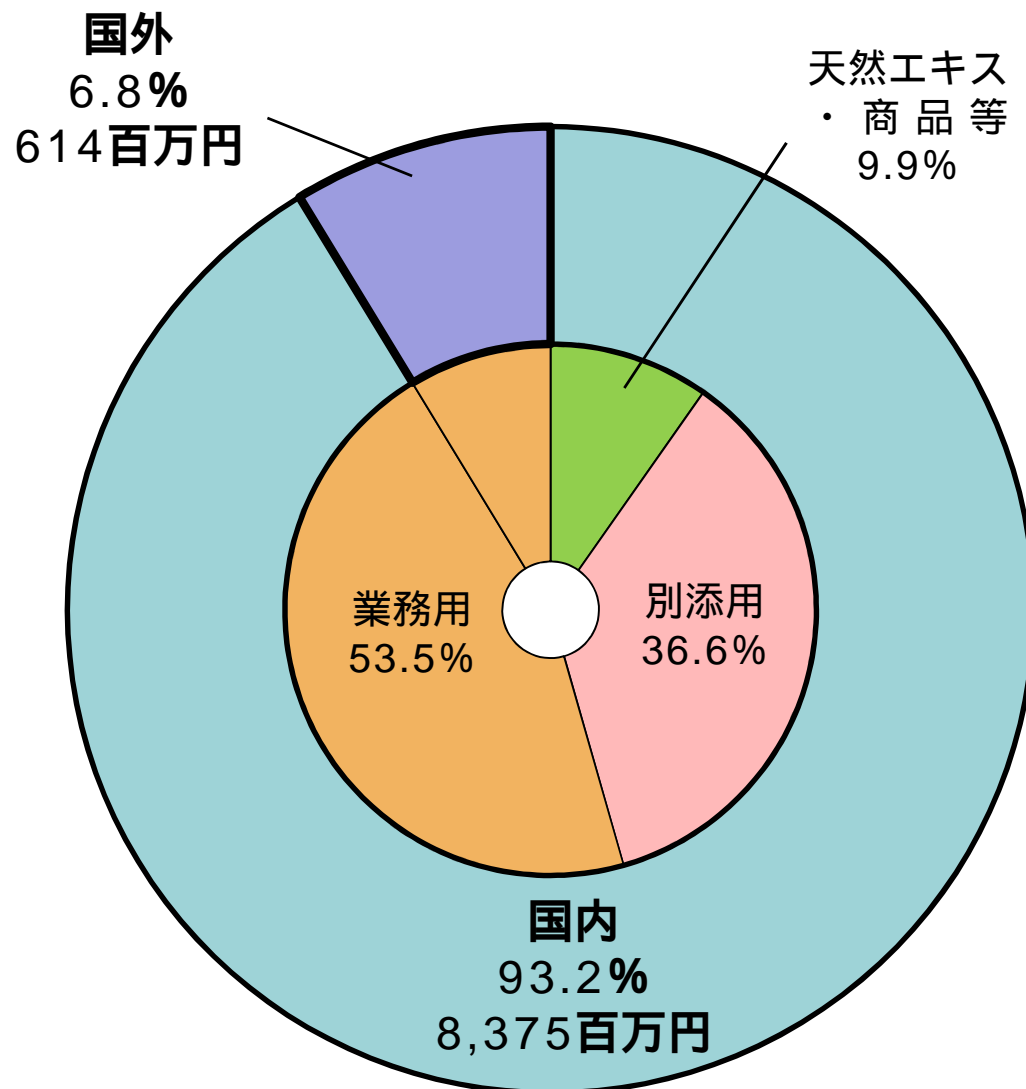
売上増加に伴い、人件費、運送保管費が増加
来期に向けた販売促進に係る費用の増加

プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により前年比較 895百万円増（11.1%増）

（単位：百万円）



連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用10.2%増、業務用11.3%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。
本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしています。

業務用



主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。
本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

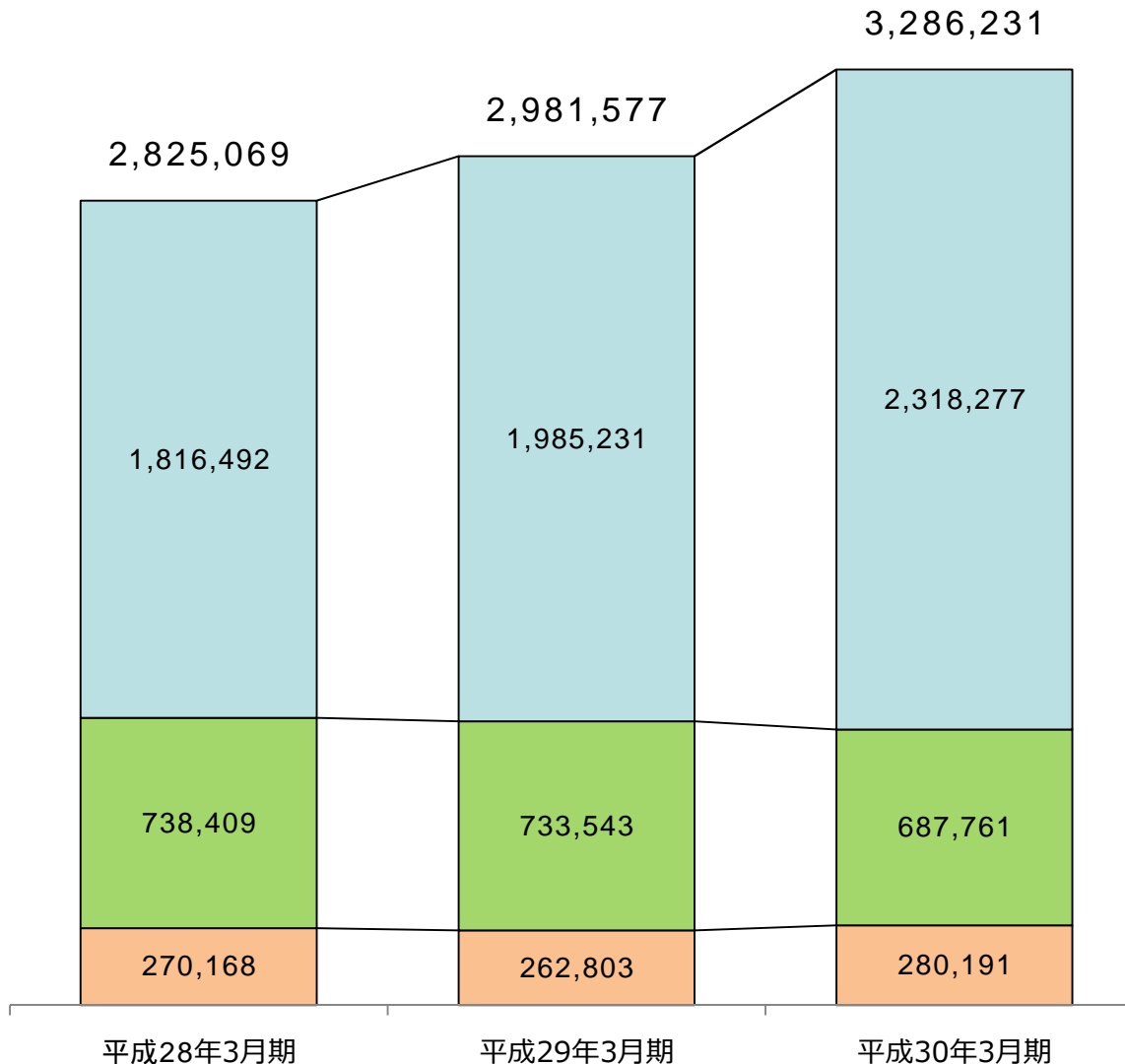
天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。
また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

別添用製品の売上高状況

(単位：千円)



別添用ラーメン 増減要因

【外食用 ↗】

- ・魚介系ラーメンスープ（あさり、鮭、鯖等）、坦々麺、鶏塩ラーメンスープ

【内食用 ↗】

- ・チルド冷麺スープ、袋麺添付ラーメンスープ（担々麺、タンメン、塩ラーメンスープ、海老塩ラーメンスープ等）

別添用その他 増減要因

【内食用 ↘】

- ・パスタソース（たらこクリーム、海老トマト等）、冷やし中華のタレ

別添用めんつゆ 増減要因

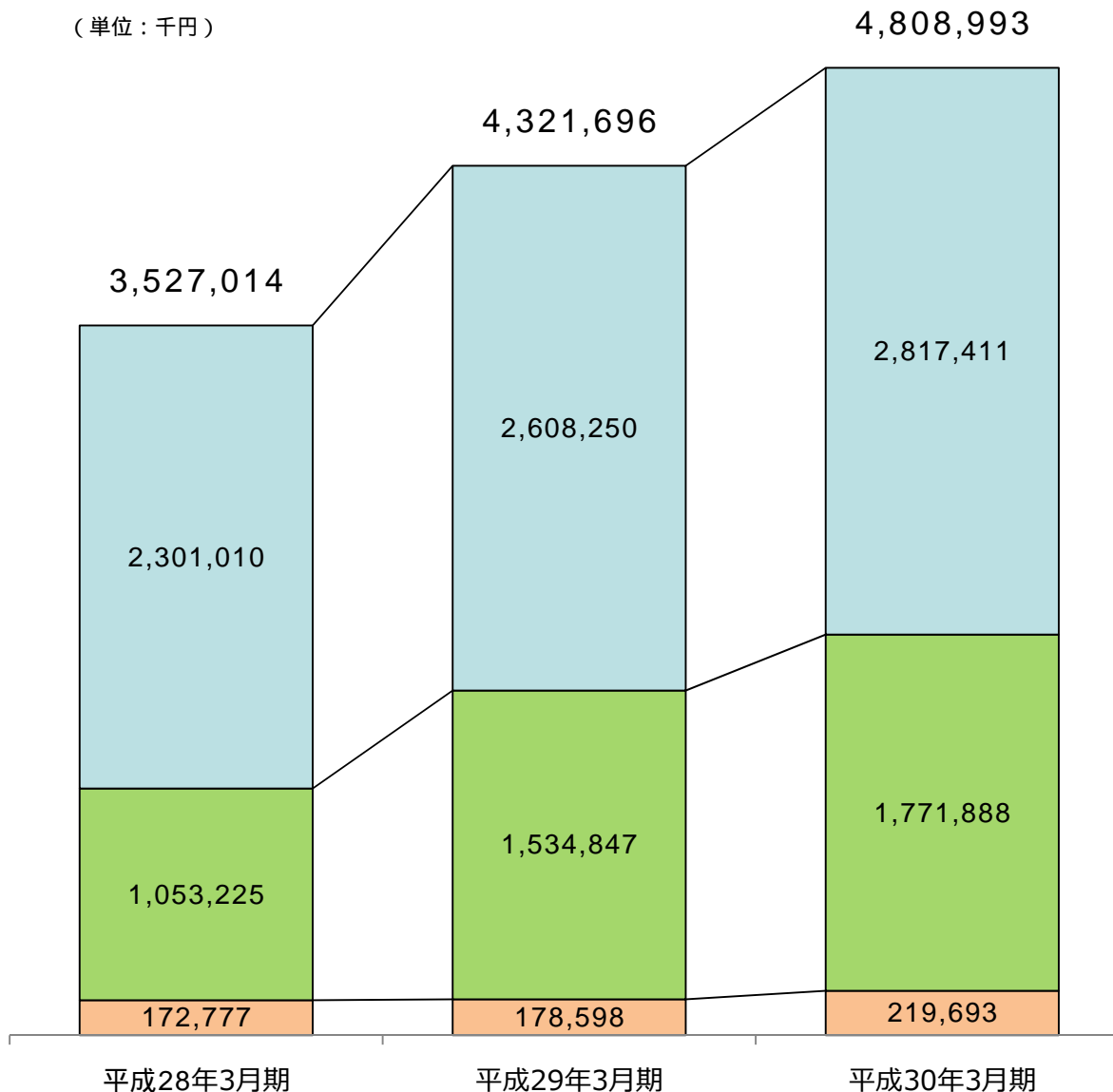
【外食用 ↗】

- ・しゃぶしゃぶのタレ

【内食用 ↗】

- ・皿うどん、あんかけのタレ

(単位：千円)



業務用ラーメン 増減要因

【外食用 ↗】

- ・豚骨、味噌、魚介系（海老、はまぐり等）ラーメンスープ、黒マー油、海老油などの香味油

【中食用 ↗】

- ・味噌ラーメンスープ

業務用その他 増減要因

【外食用 ↗】

- ・鍋用スープ（焦がし味噌、こく旨醤油、魚介系）、海鮮系パスタソース

【中食用 ↘】

- ・炒飯等の炊きこみ用のタレ

業務用畜肉・水産 増減要因

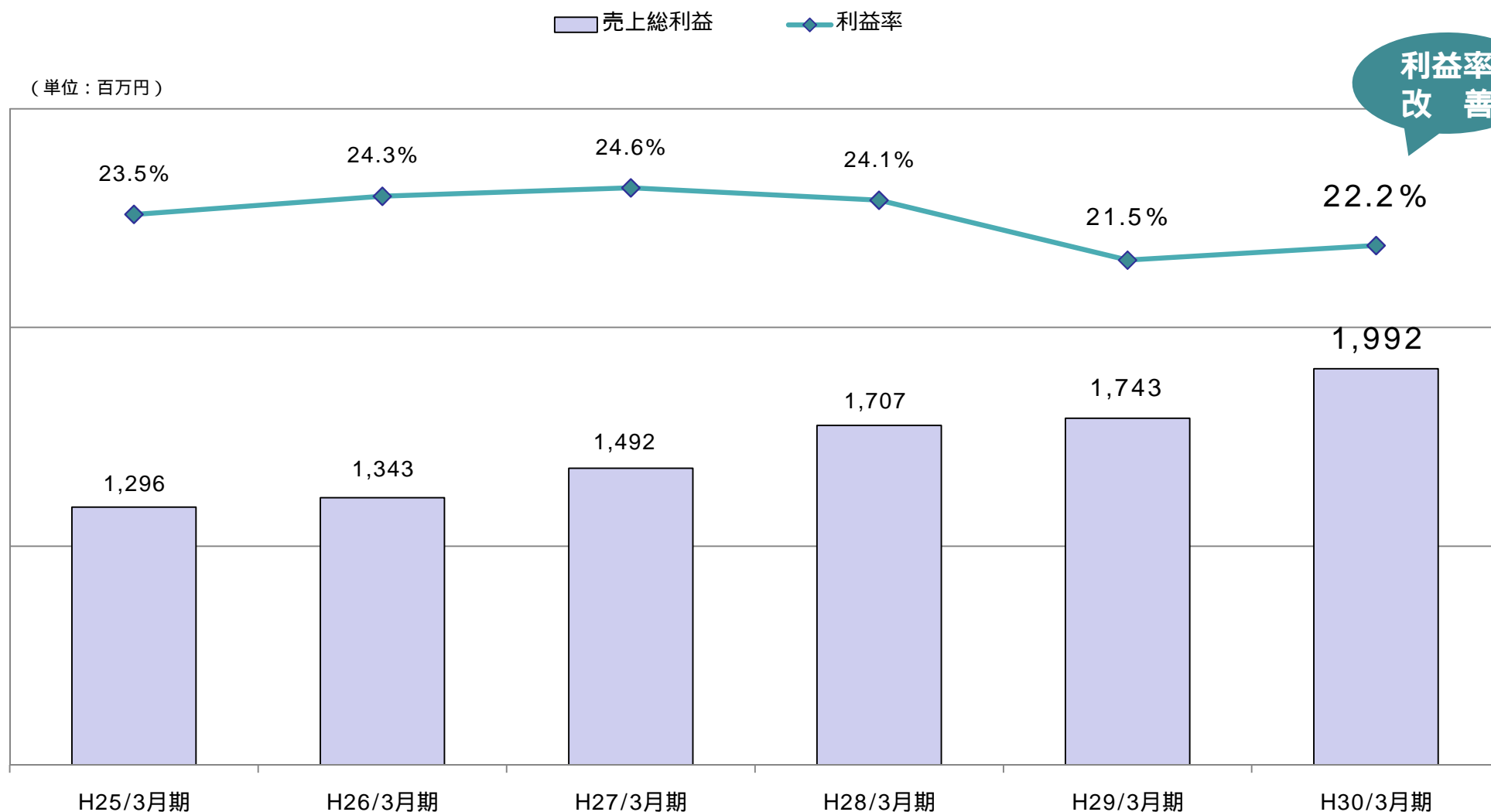
【外食用 ↗】

- ・海鮮丼のタレ、焼肉・焼き鳥のタレ

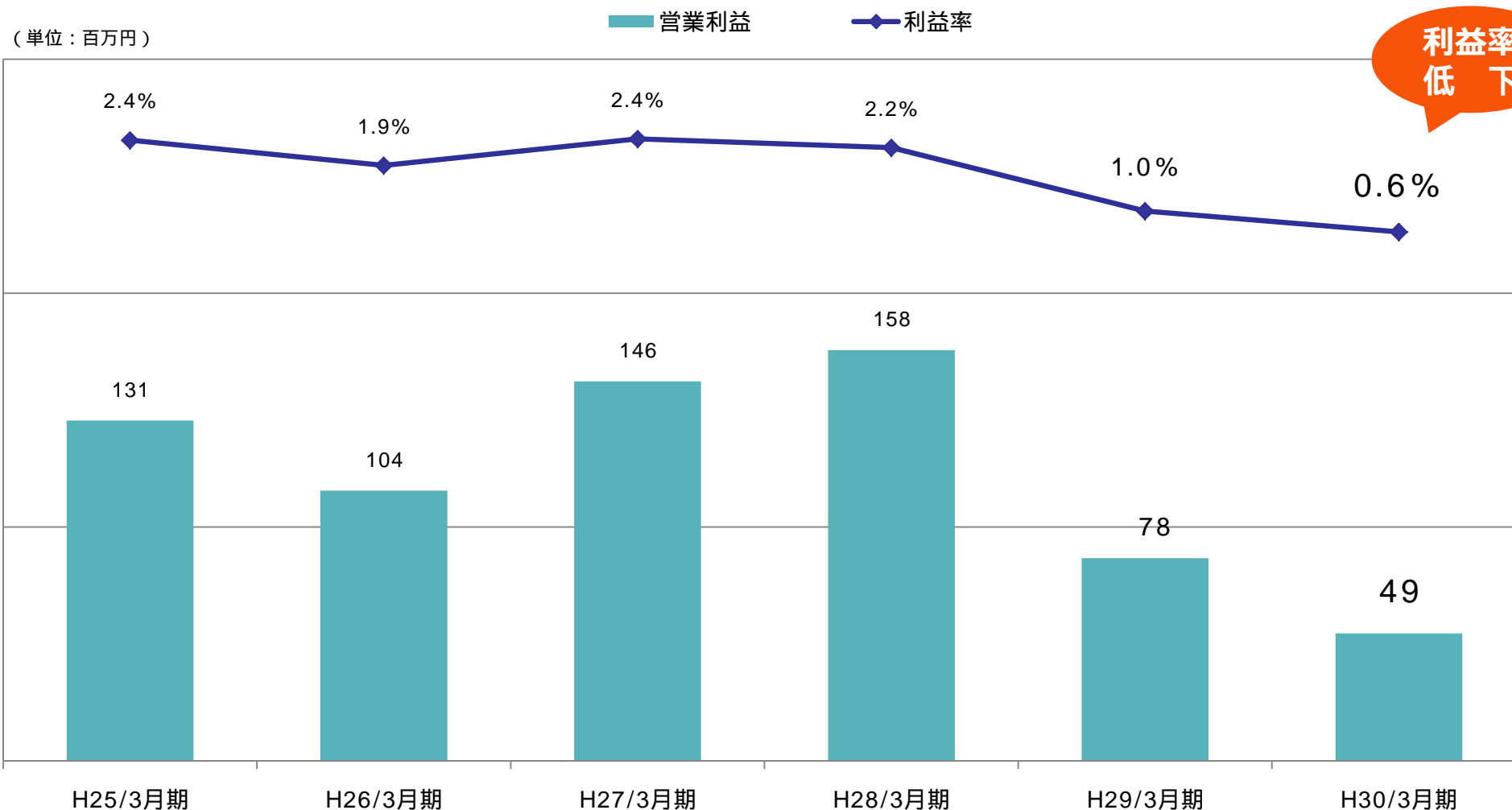
【中食用 ↗】

- ・チャーシュー調味液、丼のタレ

最新製造設備の導入、売上高増加に伴う工場稼働率の上昇により原価率抑制



売上高の急増に対応すべく運送保管費・人件費が増加。来期の課題へ



営業利益増減分析

主な増益・減益項目 (単位：千円)	平成29年3月期		平成30年3月期		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	1,743,654	21.5%	1,992,361	22.2%	248,707	14.3%
運送・保管費	418,059	5.2%	535,129	6.0%	117,070	28.0%
人件費	467,135	5.8%	552,479	6.1%	85,343	18.3%
その他販売管理費	779,823	9.6%	854,909	9.5%	75,086	9.6%
営業利益	78,636	1.0%	49,843	0.6%	△28,792	△36.6%

増益要因

売上総利益

： 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高895百万円増加
： 最新製造設備の導入、人材育成の強化により利益率が改善

減益要因

運送・保管費

： 売上増加に伴う運送・保管料の増加

人件費

： 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費

： 主に旅費交通費、法定福利費等が増加

来
期
課
題

原価改善プロジェクト

- ・ 生産体制の最適化
- ・ 運送・保管方法の見直し

キャッシュフローの状況

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・売上に係る収入額の増加 +52百万円
- ・仕入等に係る支出額の減少 +140百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・有形固定資産の取得 111百万円
- ・無形固定資産の取得 55百万円

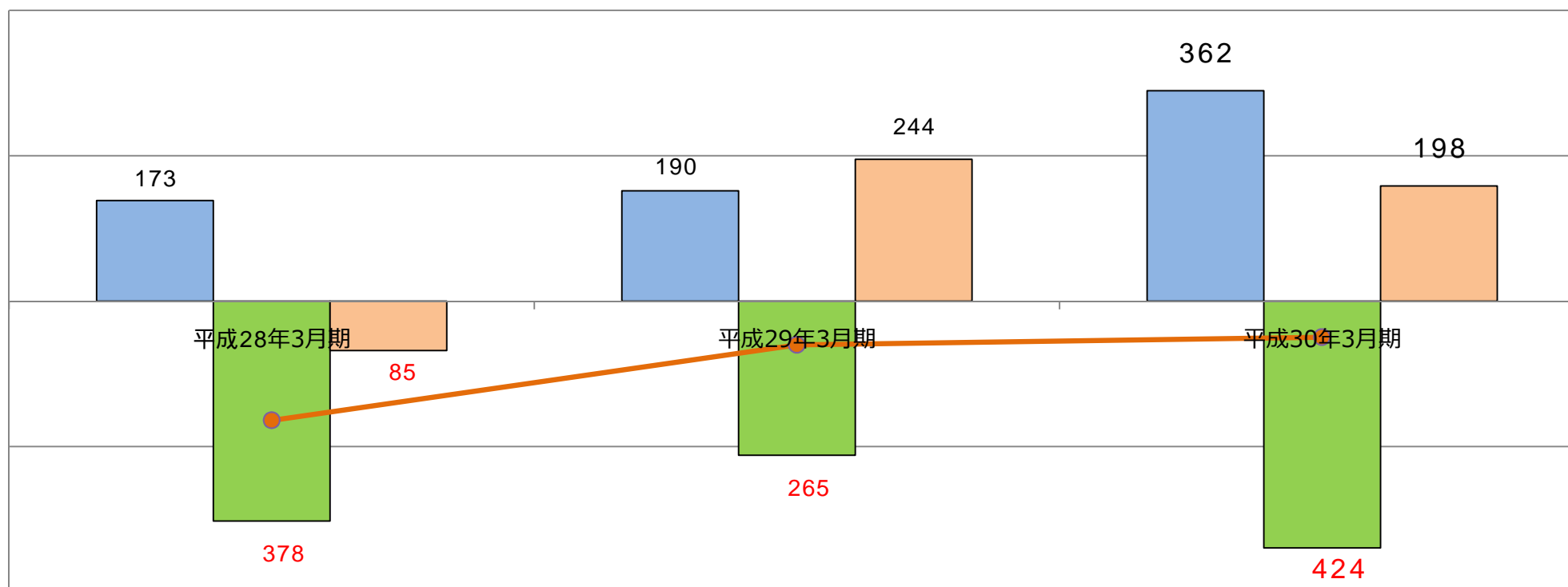
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・借入れによる収入額の減少 270百万円
- ・借入金の返済額の減少 +236百万円

営業CF 投資CF 財務CF FCF

（単位：百万円）



(単位：千円)	平成29年3月期	平成30年3月期
	実績	実績
設備投資額 1	409,285	482,992
減価償却費	423,347	423,120
研究開発費 2	172,939	210,719
フリーキャッシュフロー 3	74,934	61,340
有利子負債 ※4	1,596,128	1,789,306
配当金支払額 ※5	40,940 (50円/1株) (効力発生日：平成28年6月24日)	40,935 (50円/1株) (効力発生日：平成29年6月22日)
ROE 6	1.4%	0.9%

前年同期増減比較	
金額	増減率
73,706	18.0%
227	0.1%
37,780	21.8%
13,593	-
193,177	12.1%
-	-
-	-

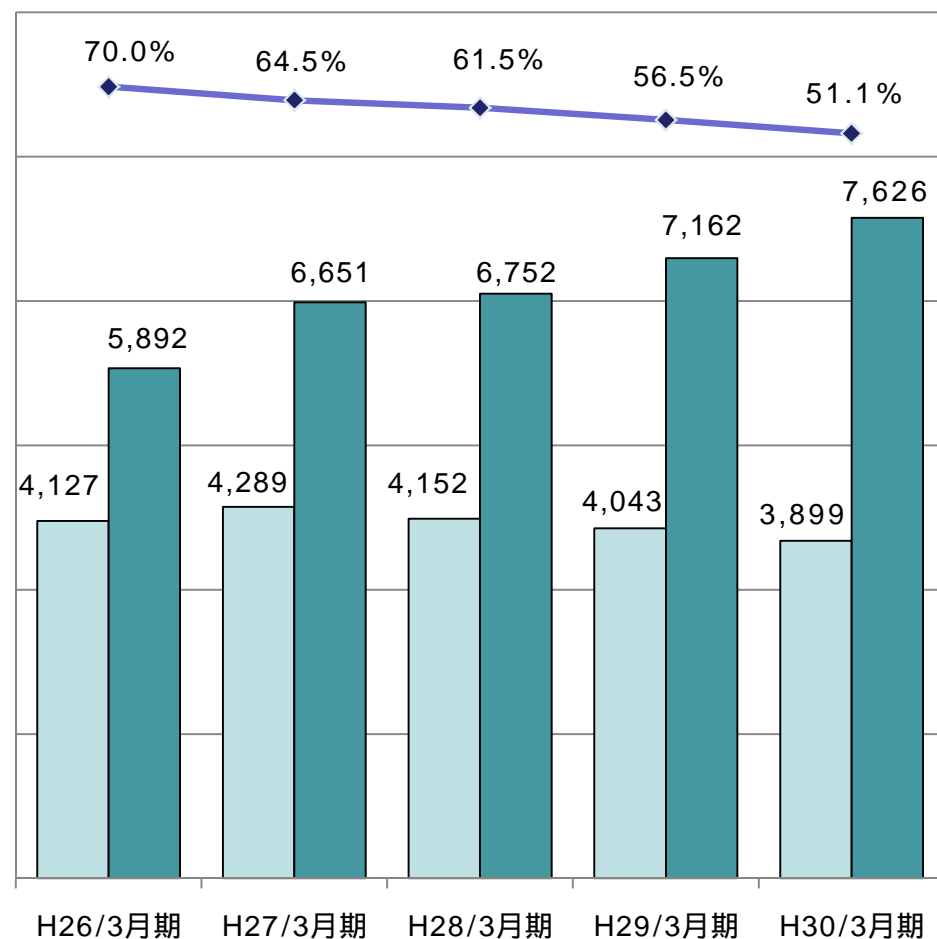
- 1 主な設備投資：製造設備の導入 224,398千円
：井水設備の工事 60,000千円
：支店移転費用 8,676千円
- 2 外食・中食向け調味料市場の開拓、拡大に伴い研究開発費が増加。
- 3 フリーキャッシュフローは先行投資により減少傾向が続いたが売上増加に伴う営業CFの増加により改善。
- 4 来期の設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。
- 5 配当金支払額については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。
- 6 ROEについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

先行投資に係る借入金が増加傾向にあるが、安定した財務基盤を継続しております

自己資本比率の推移

自己資本 総資産

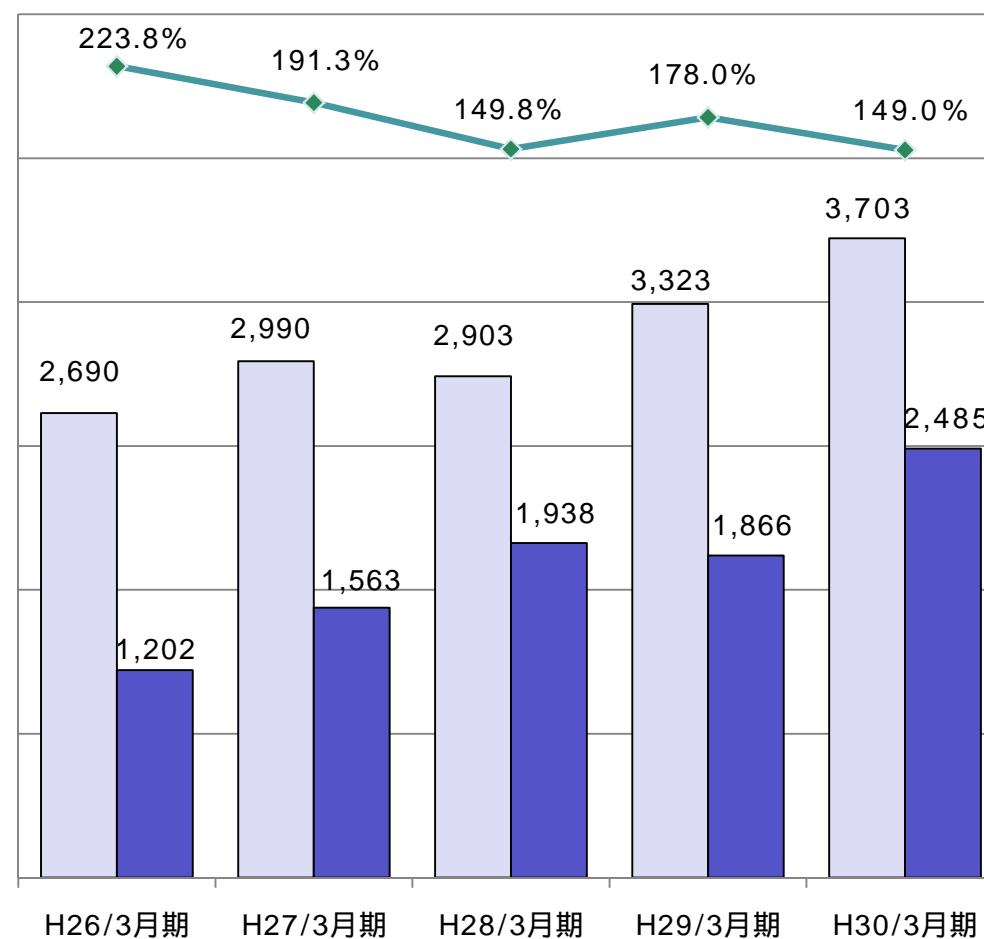
(単位：百万円)



流動比率の推移

流動資産 流動負債 流動比率

(単位：百万円)



- 1 . 平成30年3月期 連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期トピックス（参考）

業績予想に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル＝110円で計算しております。

平成31年3月期連結業績予想

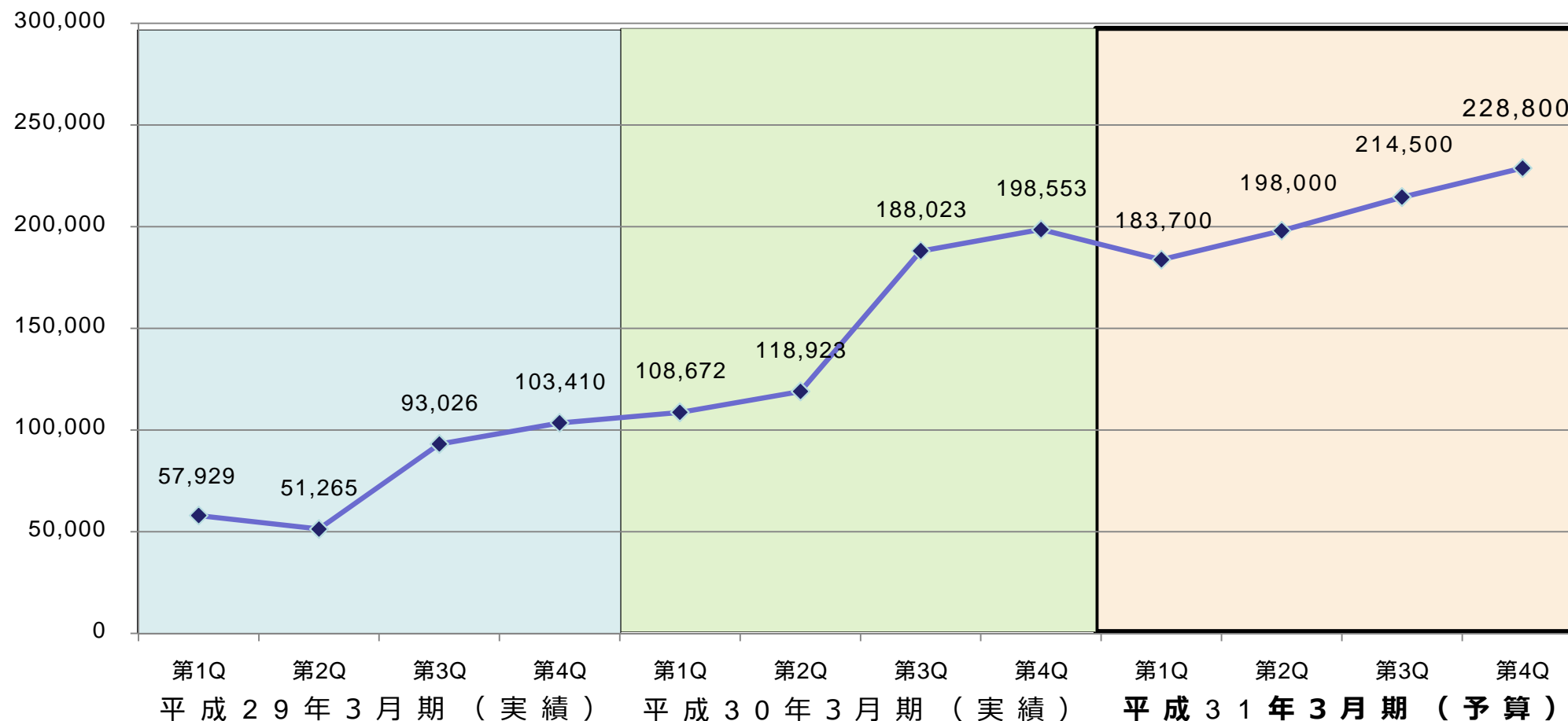
(単位：百万円)	平成30年3月期(実績)			平成31年3月期(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,370	4,619	8,989	4,624	4,999	9,623
売上原価	3,385	3,611	6,996	3,684	3,870	7,555
売上総利益	984	1,008	1,992	939	1,129	2,068
販売管理費	934	1,007	1,942	976	1,005	1,981
営業利益	49	0	49	△37	123	86
経常利益	44	△8	35	△32	127	94
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	30	37	45	69	24
1株当たり配当(円)	-	-	50円	-	-	50円

1株当たり配当については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

高収益体制に向けて

- ・各営業拠点に設置されているプライベートキッチンを活用した提案型営業の強化
- ・生産体制の最適化
- ・運送・保管方法の見直し
- ・購買機能の強化

(単位：千円)



来期の主な取組み

- ・主要都市圏（カリフォルニア州、ニューヨーク州など）を中心とする営業範囲の拡大
- ・USDA認証製品を活用した差別化戦略

- 1 . 平成30年3月期 連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第4四半期トピックス（参考）

2018年4月11日（水）8：40～9：00 放送

「朝イチマーケットスクウェア アサザイ（ラジオ日経）」に出演致しました。

- ・ラジオ日経社（取材後記）：<http://market.radionikkei.jp/asazai/date/20180411/>
- ・放送内容の聴取：<http://www.radionikkei.jp/podcasting/asazai/2018/04/player-2018411.html>



放送内容としては、社長の和山より会社概要、当社の強み、グローバル展開、今後の成長戦略などをご説明致しました。

今後も定期的に投資家様向けに当社グループについての理解を深めて頂く機会を設け、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。

デリカテッセントレードショー2018に出展致しました。



平成30年2月14日より3日間、日清オイリオグループ様との共同ブースでデリカテッセントレードショーに出展致しました。

3日間の会場来場者数は88,121名で、当社は新製品である「花咲ガニつけ麺」をご提供致しました。新製品「花咲ガニつけ麺」は3日間で約5,800食をご試食していただき、試食カウンターのまわりは常に行列ができ、大変賑わっておりました。

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。

本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的风险や不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：武田、藁谷

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp